

令和5年度第1回奈良市プロポーザル採否審査会会議録

開催日時	令和5年4月10日(月)午前10時15分から		
開催場所	奈良市役所 中央棟5階 秘書広報課会議室		
出席者	委員長	鈴木副市長	
	委員	向井副市長 中岡法令遵守監察監 吉村総務部長 谷田市民部長 山口環境部長 梅田都市整備部長 竹平教育部長	
	事務局	契約課長、契約課課長補佐	
開催形態	公開(傍聴人 0人)	担当課	観光戦略課
議題 又は案件	1 奈良市観光産業成長戦略策定業務委託		
決定又は取り 纏め事項	1 採用		

議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等

1. 議事の概要

(1) 業務の目的

本市では、新型コロナウイルス感染症患者が最初に発表された2020年1月以降、新型コロナ禍が徐々に身近なリスクとなり、緊急事態宣言等による外出制限が発出され、観光産業は大きな影響を受けた。また、これに伴い奈良市観光入込客数も大きく減少しており、地域経済の活力の低下が懸念される。

こうした状況を踏まえ、観光施設、宿泊施設や飲食店などの観光関連産業の早期振興を図るためにも、本市の観光における課題を明確にした上で、より魅力的な観光地としての奈良市の創造に取り組むことが、急務の課題である。地域活性化の観点から観光振興に戦略的に取り組む必要性を示す理念・ビジョンが必要であることから、2024年度を始期とする奈良市観光産業成長戦略(以下「成長戦略」という。)を策定することを目的とする。

(2) プロポーザル方式を採用する具体的な理由

成長戦略策定業務は、奈良市内の経済バランスや域内消費率などがわかる産業関連表を作成し、分析・解析するコンサルティング業務によって、観光産業関連事業を始めとした観光に関わるすべての現状を正確に把握することがベースとなる。

その上で、成長戦略を立てる際に必要な新たな視点からの提案や、高い創造力が求められることから、優れた技術力や市町村の観光プロモーションに係る方策を策定するための豊富な経験、情報の蓄積と収集の能力が求められる。

以上のことから、通常の価格競争には馴染まないと考え、競争入札によらず、企画書の提案やプレゼンテーションのヒアリングによるプロポーザル方式を採用する。

2. 審議

受託者選定にあたって、プロポーザル方式が適切かの審議を行った。

3. 結論

プロポーザル方式を採用した。